

土砂災害について

いわき市立中央台南小学校 5年 折原汰一

去年の夏休み、国土交通省へ見学に行った時、ぼくは、土砂災害の体験車に乗りました。その中には15人くらいの席があり、前には大きなモニターがあって、えい画のようなものが流れました。スリーディー眼鏡をかけたので、えい像が飛び出るように見えました。体験車の中は、土砂災害の時のにおいまで再現されていたので、自分自身が本当に土砂災害にあった感じがしました。えい画の内容は、ふつうに暮らしている家族が、ある日大雨におそわれ、土砂災害にあうという話です。妹の女の子が川の水が減ったと言ったので、家族全員がひなんし、土砂災害からののがれることができました。

土砂災害には、種類が三つあります。一つ目は土石流、二つ目は地すべり、三つ目はがけくずれです。このえい画の災害は、まず地すべりが起きて川の水をせき止め、貯まった水におされて土石流が発生するというものでした。地すべりは、比かく的ゆるやかなしゃ面において、地中のねん土そうなどのすべりやすい面が地下水のえいきょうなどですべり落ちるのが原因です。土石流は、谷やしゃ面などに貯まった土、石、砂などが、ごう雨によって水と一しょになり一気に流れるのが原因です。

土砂災害の起きる前ぶれには、山がうなるようにゴゴゴゴと音が鳴った時、川の水がにごって木などふだん流れないものが流れる時、雨が降っているのに川の水が減っている時、地面がひび割れたり一部分がもり上がったりしている時、井戸水がにごっている時、しゃ面から水がわき出た時、がけから小石が少し落ちてきた時、がけから水が出てきた時など、九つの前ぶれがあります。ふだんからこれらの前ぶれを頭に入れておけば、ひなんしやすく、命を落とすようなき険は回ひできると思います。

土砂災害を防ぐにはいろいろな方法があると思います。まず一つ目は、木を植えるという方法です。コンクリートのかべをつくる方法もありますが、ぼくは自然のもので防いだ方がよいと思います。木を植えることは、地球温だん化を防ぐことにもつながるからです。二つ目は、土砂災害が予想される場所に、地すべりを防ぐ工事を前もっておこなっておくという方法です。地すべりの原因となる地下水を取りのぞくため、はい水トンネルをつくったり、雨水などが地面にしみこまないように水路をつくったりしておくと、集中ごう雨があっても大じょうぶだと思えます。

ぼくは、土砂災害はこわいと思いました。土砂災害は、全てを破かいし、時には人の命までうばってしまうからです。土砂災害は、木を切り、山をくずして住宅や道路をつくった人間に対するけい告かもしれませぬ。これからは、できるだけ自然をこわさず、いろいろな防止方法を実ししてほしいと思えます。